

# あなたの田んぼ大丈夫ですか？

## 新潟県水田土壌の実態

県内のすべての地域で**有効態ケイ酸**が不足しています。また、一部地域で遊離酸化鉄が不足している傾向にあります。

この数値に満たない場合、土壌からの養分供給が不十分です。  
※色つきの欄は、成分が不足していることを示しています。

(新潟県農業総合研究所、2016データ)

項目	下限値	村上	新発田	新潟	新津	巻	三条	長岡	柏崎	魚沼	南魚沼	十日町	上越	糸魚川	佐渡
有効態ケイ酸 (mg/100g)	15	9.1	10	10.4	6.5	10.9	6.1	8	9.9	6.9	7.6	10.1	9.4	8.2	7.3
遊離酸化鉄 (%)	1.5	1.18	0.93	2.34	1.86	2.37	2.34	2.22	2.2	1.98	1.48	1.26	2.3	1.06	1.89

## ケイ酸が不足した稲

- ・茎葉が軟弱になり、倒伏や病虫害の被害が増えます。
- ・受光態勢が悪くなり、生育や収量、品質が低下します。



【倒伏した稲の様子】



【葉いもち病斑】



【初期害虫の食害】

稲が必要とする**ケイ酸**の量は年間**100kg/10a以上**とも言われており、稲の健全な生育に**必要不可欠な栄養素**なんだ！



## 鉄が不足した水田

- ・土壌に硫化水素が発生し、根腐れなどを引き起こして、「秋落ち」が生じる可能性があります。



【ガスわきの様子】



【根腐れ障害】

## 土壌養分不足によるごま葉枯病の発生

- ・ケイ酸、マンガン、鉄などが不足すると、イネごま葉枯病が多発します。



【イネごま葉枯病】



秋落ち水田・老朽化水田は、要注意!!

## 登熟期の高温による未熟粒の発生

(農水省HPより)

異常な高温やフェーンのような乾燥風に見舞われると、乳白米など、みのりのよくない米が出やすくなります。

土づくり  
で対策を!



【乳白粒】



【心白粒】



【基部未熟粒】



【背白粒】



【青未熟粒】

JAグループでは、県下全域で土づくりに取り組んでいます

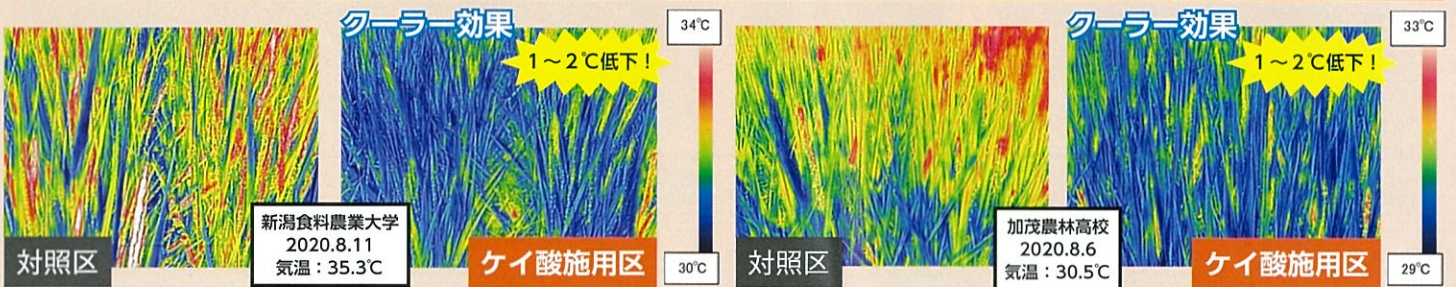
# 米づくりは「土づくり」が重要です 品質・収量向上のため、土づくりに取り組みましょう!

●JAグループでは、2020年度各地区でケイ酸施用効果の実証試験を実施しました。

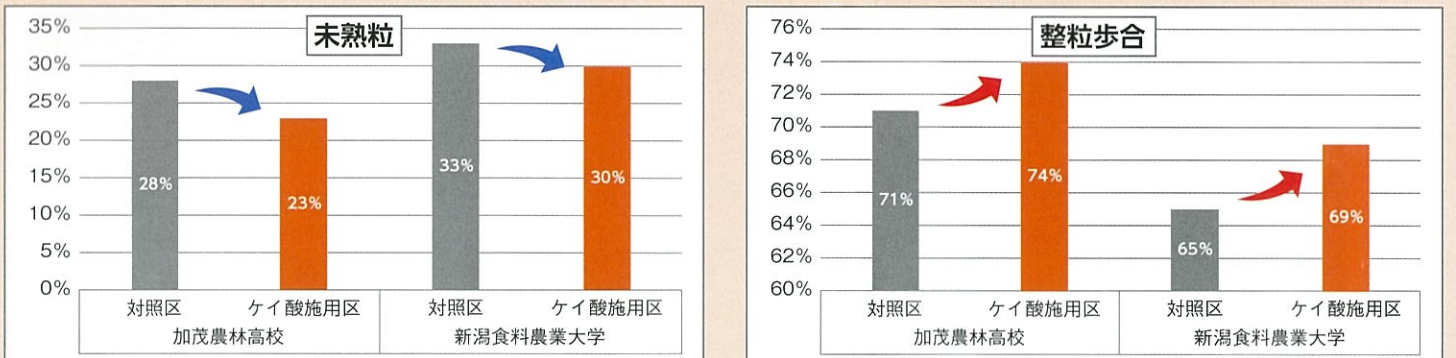
★ケイ酸の効果① 根量を増加させる。特に主根から分岐した細根が充実する!



★ケイ酸の効果② 根部からの吸水量が増加し、蒸散が活発になることで、葉温が高くなるのを防ぐ!



★ケイ酸の効果③ 未熟粒の発生が軽減され、整粒歩合の割合がアップ!



## ●越後の輝き ソイル米スター 15kg

特長

- ・1袋が15kgと軽量
- ・ケイ酸を30%保証

水稻が効率的に吸収するケイ酸を含みます。標準施肥量 10aあたり2袋以上

保証成分

りん酸	加里	アルカリ分	ケイ酸	苦土
1	7	23	30	2



鉄・マンガン

- ・根腐れの原因となる硫化水素の発生を抑える効果があります。
- ・後期栄養不足(秋落ち)対策としては「鉄」や「マンガン」を含む肥料の施用が重要です。

土壌診断で養分の過不足を確認し、適正施肥で収量・品質の向上を目指しましょう!

\*詳しくは最寄りのJAにご相談ください。